

※2010年6月（最終データ更新年月）時点の内容です。内容についてのお問い合わせには対応しかねますので、ご了承ください。

日本語彙研究文献データベース概要

この目録は、19世紀半ば以降、日本で形成された新しい語彙、概念や意味について研究した文献を調査したものです。

収録件数：7034件（2010年6月15日現在）

収録範囲

- ・日本近代語彙と語形、意味、用法などで深い関係のあるものについては、それ以前、以後の日本語、中国語、韓国語についての文献も収録する。
- ・分野、言語は問わない。中国語、韓国語、英語などヨーロッパ語で書かれた文献も収録対象とする。
- ・論文・単行本を主な対象とするが、辞典類（例、『明治のことば辞典』）や専門資料（例：『事物起源』など）も収録対象とする（末尾の「収録した研究書及び辞書類など」を参照）。

記載方式

それぞれの文献データの記載方式は次の通り。

- ・見出し（漢字表記など）、筆者・著者名、論文名（論文や雑誌記事の題名、副題をふくむ）、収録の本題、出版元、出版年月、収録ページ
- ・論文や単行本は次の記号で区別する。論文・雑誌記事：「 」、単行本：『 』

表記

- ・全収録データは元の表記の通りに採録する。韓国語や中国語に書かれた文献も同じ。
- ・旧漢字は、検索の便宜を考え、常用漢字に統一した。

収録した研究書及び辞書類など

研究書

- 浅野敏彦『国語史の中の漢語』和泉書院 1998.02
- 有田和夫『近代のかたち』研文出版 2004.09、187 p
- 荒川清秀『近代日中学術用語の形成と伝播』白帝社 1997.10 327 p
- 石田雄『近代日本の政治文化と言語象徴』東大出版会 1983.09
- 石綿敏雄『外来語と英語の谷間』秋山書店、1983.09、193 p
- 一海知義『漢語の知識』岩波書店、1981.07、220 p
- 内田田慶市・沈国威編『19世紀中国語の諸相』雄松堂出版 2007.03 303 p
- 加藤秀俊・熊倉功夫『外国語になった日本語の事典』岩波書店、1999.07、257 p
- 神奈川大学人文学研究所編『明六雑誌』とその周辺』お茶の水書房、2004.03
- 近代語研究会『近代語研究』1-14、近代語研究会
- 久保忠夫『三十五ことばに関する七つの章』大修館書店 1992.04 233 p
- 国語語彙史研究会『国語語彙史の研究』1-26 和泉書院
- 小森陽一『日本語の近代』岩波書店 2000.08、309 p
- 子安宣邦『漢字論』岩波書店 2003.05 234p
- 斉藤静『日本語に及ぼしたオランダ語の影響』篠崎書林 1967.08 293 p
- 斉藤毅『明治のことば』講談社 1977.11
- 佐藤喜代治『国語語彙の歴史的研究』明治書院 1971.11、382 p
- 佐藤喜代治『日本の漢語』角川書店 1979.10
- 佐藤喜代治編『講座日本語の語彙 9 語誌 1』明治書院 1983,01328 p
- 佐藤喜代治編『講座日本語の語彙 10 語誌 2』明治書院 1983,04 408 p
- 佐藤喜代治編『講座日本語の語彙 11 語誌 3』明治書院 1983,06 358 p
- 佐藤喜代治編『講座国語史 3』大修館書店 1971.09
- 佐藤亨『近世語彙の研究』桜楓社 1983.06 467 p
- 佐藤亨『国語語彙の史的研究』桜楓社 1999.05、399 p
- 佐藤亨『近世語彙の歴史的研究』桜楓社 1980.10
- 佐藤亨『幕末・明治初期語彙の研究』桜楓社 1986.02
- 朱京偉『近代日中新語の創出と交流—人文科学と自然科学の専門語を中心に』白帝社
2003.10 542 p
- 沈国威『近代日中語彙交流史—新漢語の生成と受容』笠間書院 1994.03 452 p
- 新村出『新村出全集 4』筑摩書房 1971.09
- 杉本つとむ『語源の文化誌』創拓社、1990.07、362p
- 杉本つとむ『日本語講座 6 外国語と日本語』桜楓社、1980.03 304p
- 鈴木修次『漢語と日本人』みすず書房 1978.09

- 鈴木修次『文明のことば』文化評論出版 1981.03
- 鈴木修次『日本漢語と中国—漢字文化圏の近代化』中央公論社 1981.09
- 孫建軍『日本語彙の近代』国際基督教大学博士論文、国際基督教大学 2003.01
- 高野繁男『近代漢語の研究—日本語の造語法・訳語法』明治書院 2004.11 273 p
- 高松政雄『日本漢字音論考』風間書房 1993.06
- 田島優『近代漢字表記語の研究』和泉書院 1998.11
- 飛田良文『東京語成立史の研究』東京堂出版 1992.08 898 p
- 飛田良文編『英米外来語の世界』南雲堂 1981.10
- 広田栄太郎『近代訳語考』東京堂出版 1969.08
- 平林文雄『国語学研究論考』和泉書院 1985.05
- 福島邦道『語史と方言』笠間書院 1988.12
- 『国語語文字史の研究』和泉書院
- 陳生保『中国語の中の日本語』国際日本文化研究センター 1996.12
- 陳力衛『和製漢語の形成と展開』汲古書院 2001.03 445 p
- 鄭英淑『津田真道の訳語研究』国際基督教大学提出博士論文、2004.10
- 飛田良文『明治生まれの日本語』淡交社 2002.05
- 馮天瑜『新語探源』中華書局 2004.10
- 穂積陳重『法窓夜話』(岩波文庫) 岩波書店 1980.01 422 p
- 前田富祺『国語語彙史研究』明治書院、1985.10
- 松井利彦『近代漢語辞書の成立と展開』笠間書院 1990.11
- 松井利彦『近代漢語辞書の成立と展開』笠間書院 1990.11 370 p
- 森岡健二『改訂近代語の成立』明治書院 1991.10
- 山田忠雄『私の語誌』1 三省堂 1996.10
- 柳父章『翻訳語成立事情』岩波書店 1982.04
- 柳父章『翻訳とはなにか』法政大学出版局 2003.05、217 p
- 米川明彦『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』三省堂、2002.10、335 p
- 渡辺萬蔵、『現行法律語の史的考察』萬理閣書房、1930.12、338 p

辞書類

明治期以降の語彙や概念を説明した辞典

- 樺島忠雄・飛田良文・米川明彦編『明治大正新語俗語辞典』東京堂出版 1984.05 364 p
- 米川明彦編『明治・大正・昭和の新語・流行語辞典』三省堂、2002.09
- 米川明彦編『新語と流行語』南雲堂、1989.11
- 佐藤亨『幕末・明治初期漢語辞典』明治書院、2007.06、936 p
- 惣郷正明・飛田良文『明治のことば辞典』東京堂出版 1986.12

- 槌田満文『明治大正新語・流行語』角川書店 1983.06
槌田満文『明治大正風俗語典』角川書店 1979.11 342 p
森田良行『基礎日本語 1、2,3』角川書店 1977.10
稲垣吉彦・吉沢典男監修『昭和ことば史 61 年』講談社 1985.10、301 p

事物起源類

- 荒俣宏『事物珍起源』東洋文庫 1989.10
石井研堂『増補改訂 明治事物起源』上巻・下巻 1944.11
紀田順一郎『近代事物起源事典』東京堂出版 1992.09
湯本豪一『図説明治事物起源事典』柏書房 1996.11
安達巖『日本食物文化の起源』自由国民社 1981.05 小川鼎三『医学用語の起り』東京書籍 1983.01

語源辞典類

- 岩淵悦太郎『語源散策』毎日新聞社、1974.10
前田富祺監修『日本語源大辞典』小学館、2005.4
立川清編『医語語源大辞典』国書刊行会、1976
杉本 つとむ『語源海』
中村元編著『仏教語源散策』東京書籍 1998.07、244p